

PASSWORD MANAGER > VAULT BASICS

カスタムフィールド

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/custom-fields/>

カスタムフィールド

カスタムフィールドは、どのデータ保管室アイテムタイプでも利用可能で、データ保管室アイテムに構造化されたデータフィールドを追加で保存することができます。カスタムフィールドはName:Valueのペアとして保存され、4つのタイプのいずれかになります：

- **テキスト**：フィールド値には自由形式の入力（テキスト、数値など）が格納されます。
- **非表示**：フィールド値には、表示されない自由形式の入力が格納されます（特に、「パスワードを隠す」アクセス制御を使用している組織に便利です）。
- **ブール値**：フィールド値はブール値（真偽値）を格納する。
- **リンクされている**：フィールド値はアイテムのユーザー名またはパスワードにリンクされています。適切なフィールド名があれば、リンクされたカスタムフィールドを使用して、ブラウザ拡張機能で特定のサイトのユーザー名とパスワードを自動入力できない問題を解決できます（詳細）。

Tip

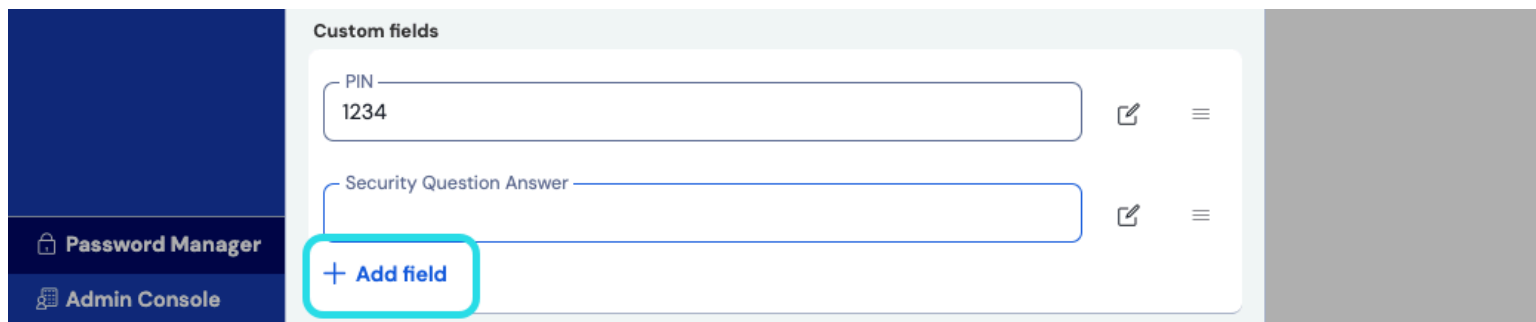
キーのカスタムフィールド

PINやセキュリティ質問のような一般的なウェブサービス入力に加え、カスタムフィールドを使用して、例えばRSA 4096ビットのSSHキーのような長さ5000文字までの値を格納することができます。

カスタムフィールド値の文字数制限は、**暗号化後の文字数**に課されます。例えば、3383文字のRSA-4096 SSH秘密鍵は、暗号化されてVaultに保存されると約4400文字になります。

カスタムフィールドの作成

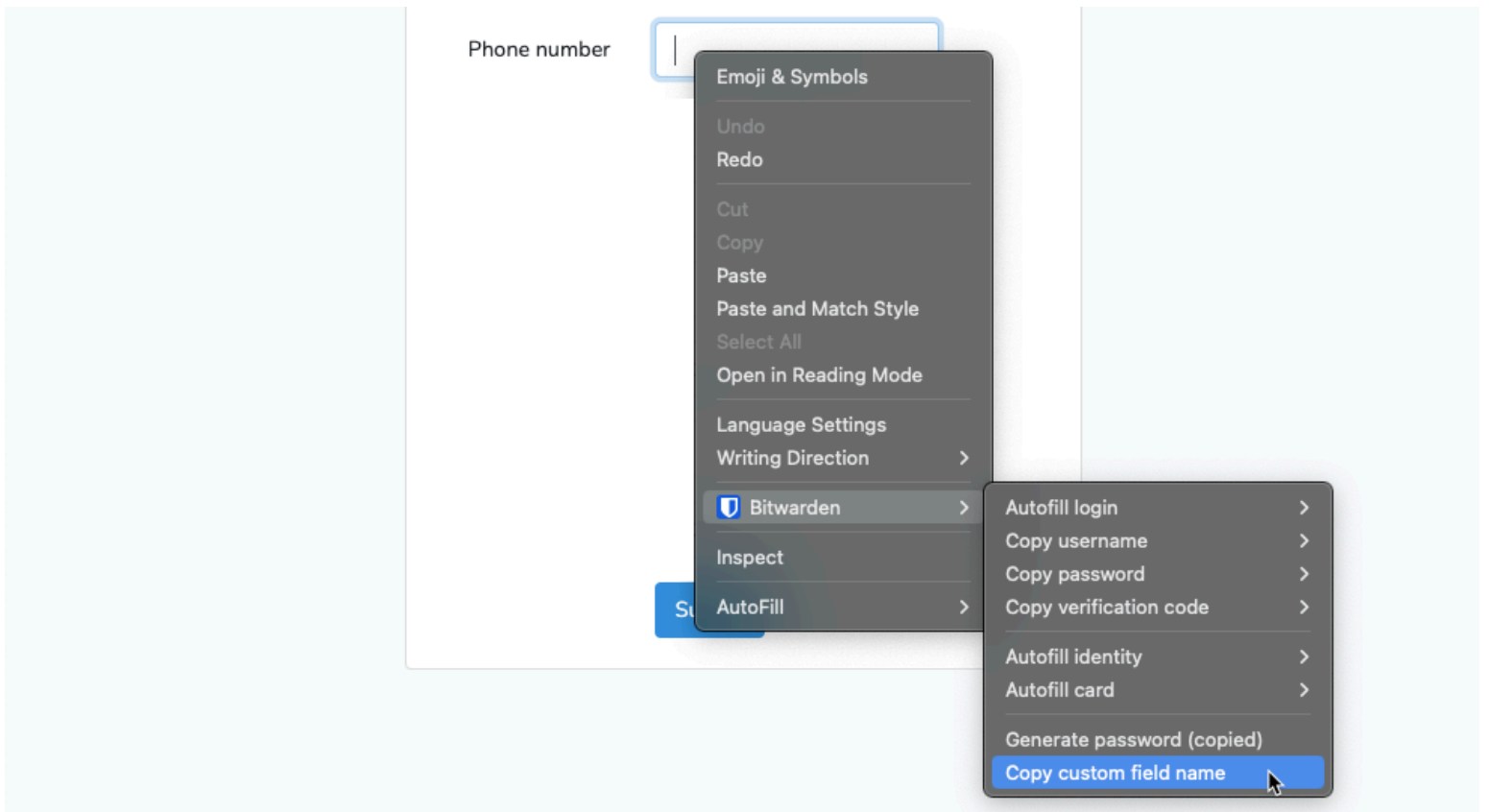
カスタムフィールドは、どのBitwardenクライアントからでも、**Edit Item（アイテムの編集）**パネルの**Custom Fields（カスタムフィールド）**セクションを使用して、保管庫アイテムに追加することができます：



Web Vaultのカスタムフィールド

カスタムフィールド名

カスタムフィールドのオートフィルを成功させるためには、指定されたNameを正しく設定することが重要です。Bitwardenブラウザ拡張機能を使用すると、コンテキストメニューの**カスタムフィールド名のコピー**オプションを使用して（ほとんどの場合、フォーム要素を右クリックして）、正しいフィールド名をすばやく取得できます：



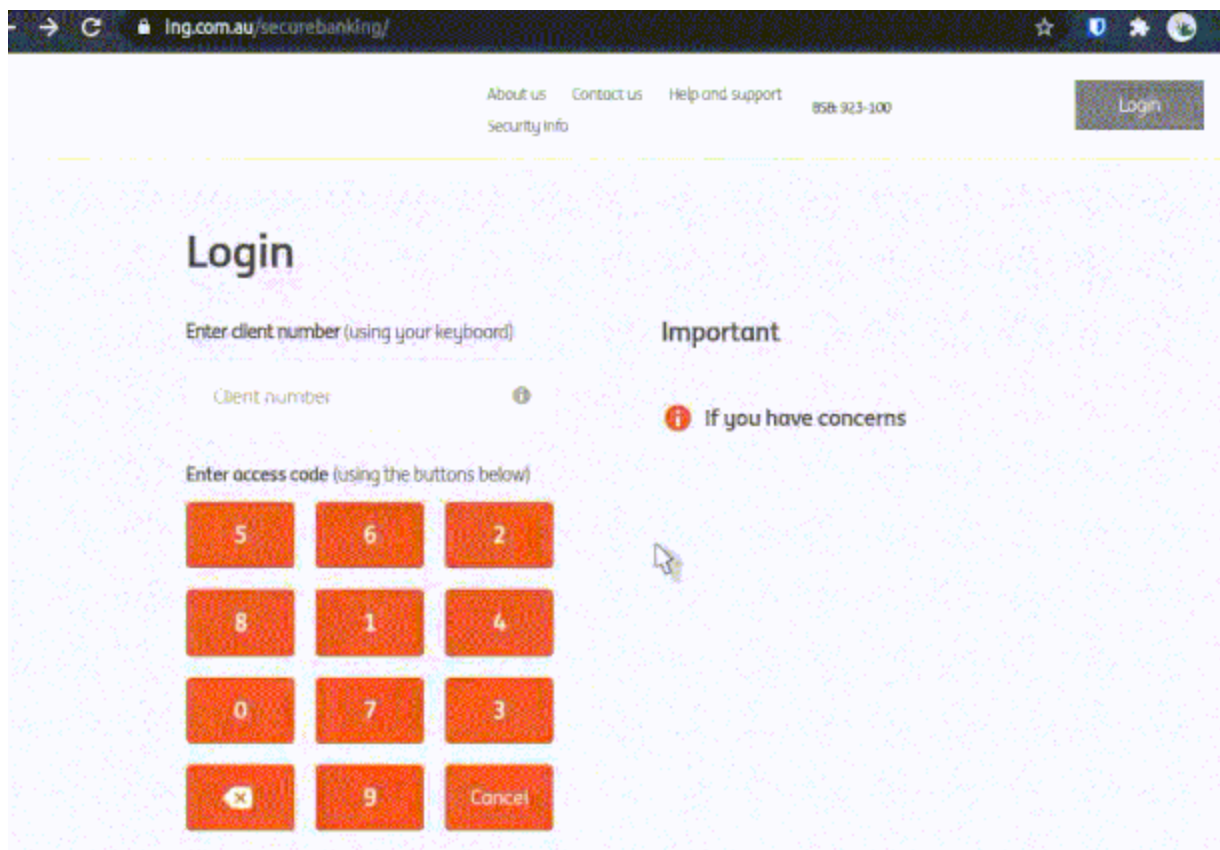
カスタムフィールド名のコピー

このコンテキストメニューオプションを選択すると、フォーム要素の `id`、`name`、`aria-label`、`placeholder` の値（優先順）がコピーされます。

カスタムフィールドを保存したら、ブラウザの拡張機能から自動入力することができます。

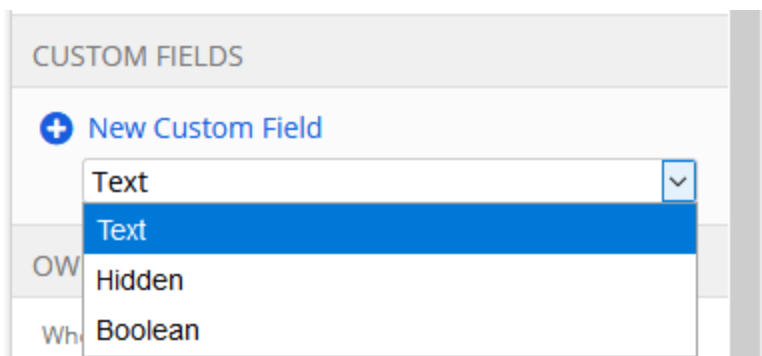
カスタムフィールド名を手動で検索する

ブラウザの拡張機能を使用しない場合、フィールド名を見つける最良の方法は、以下の例のように、ウェブブラウザの開発者ツールを使用することです：



カスタムフィールド – カスタムフィールドの追加方法

1. ログイン項目のURIに一致するウェブページで、オートフィルしたいフィールドを右クリックし、「**検査**」を選択します。HTML要素が開き、開発者コンソールでハイライトされます。
2. 要素のidを見つけてコピーする (id="xxx"を見つける、xxxは要素のid値)。
3. 関連する保管庫アイテムの**カスタムフィールド**セクションで、適切なフィールドタイプを選択し、+ [新規カスタムフィールド] ボタンを選択します：



カスタムフィールドの種類を選択する

4. コピーした要素IDを **Name** フィールドに貼り付けます。
5. 自動入力される情報 (上記の例ではPIN) を「**値**」フィールドに指定します。



CUSTOM FIELDS	Name	Value
	element_id	1234

カスタムフィールドの例

6. 保管庫の項目を保存します。

カスタムフィールドを保存したら、ブラウザの拡張機能から自動入力することができます。

カスタムフィールド名の詳細

優先順位

カスタム・フィールドに手動で名前を付ける場合は、以下のHTMLフォーム要素の属性/値のいずれかを優先的に使用する必要があります：

1. HTML フォーム要素の `id` 属性。
2. HTML フォーム要素の `name` 属性。
3. HTML フォーム要素の `aria-label` 属性。
4. HTML フォーム要素の `placeholder` 属性。

マッチング

フィールド名のマッチングは、大文字と小文字を区別しない正確な比較です。例えば、カスタムフィールドに `PIN` という名前がある場合：

- `ピン`、`PiN`、`PIN`などのオートフィルを提供。
- `pin2`または`mypin`にはオートフィルは提供されません。

接頭辞

接頭辞を使うことで、マッチングをよりコントロールできるケースが2つあります：

- `csv`: `csv= pin, mypin, pincode`のように、カスタムフィールド名の前に`csv=`を付けることで、オートフィルで検索・比較する複数の名前を指定することができます。
- `regex`: `regex`: カスタムフィールド名の前に`regex=`を付けると、オートフィル時に正規表現による比較を行うことができます。例えば、`regex=^first.*name`を指定すると、`firstName`、`First_name`、`First Name`が自動入力されます。